

佳作

目の前のごことを全力で

静岡県磐田東中学校三年 葉原 莉乃

私は中学二年生の時の職場体験で、自分の仕事に誇りを持ち、全力で働く人々の素晴らしさを目の当たりにした。また、その人々と関わり多くのことを学ぶことができた。

初めての職場体験。私は地域の大きな病院に行くことになった。医療に関わる職業には以前から興味があり、その職場の人々に関われるのはとても嬉しく、わくわくしていた。一日目、一緒に体験する友達と病院へ入る。学校行事だとはいえ、中は普段と変わらず、患者さんが多く訪れている。その中で職場体験をするのは少し緊張した。

まず最初は担当の方に案内されながらたくさんの部屋を回った。各部屋で担当者が自分の仕事を全うしていた。私たちが部屋に入れば実物を見せながら細かく説明してくれたたり、実際に体験させてもらっ

たりした。どの方も私たちが来たことを喜び、歓迎してくれた。中でも心に残ったのは、薬剤師さんのいる所だ。私たちが体験しに来る今日のために、スライドの映像や資料を用意し、丁寧に対応してくれた。私たちは緊張せずに体験できた。

二日目、昨日とはスケジュールがガラッと変わり、実際に患者さんがたくさんいる病棟へ行って看護師さんの体験をすることになった。二日目は友達と離れ、各病棟に一人ずつ配置されたので少し心細かったが、看護師さんは優しく案内してくれた。細かいスケジュールを見ると、「シーツ交換」「患者さんとの触れ合い」などと書かれていて、こんな体験ができるんだと楽しみでならなかった。

しかし病棟へ行き、ナースステーションと呼ばれる場所に入ると、衝撃的な光景を目にした。多くのスタッフが何かに追われているかのようになり、作業としては走り回っていた。決して空気はピリついていないが、見るからに忙しそうだった。「私がいたら邪魔だろうな」と思いながらも指示に従って簡単な仕事をこなしていった。担当してくれた看護師さんも、もちろん暇ではない。

「少し待ってね。」

そう言って急いでどこかへ向かっていった。どうすればよいか分からず、少し困っていると、一人の女性が、

「ちょっと見てみる。」

と笑顔で聞いてくれた。昨日の薬剤師さんだ。

「私、この病院に来たの最近で、まだ全然慣れてないの。大変だよ。でも、すごくやりがいがあるし素敵なお仕事だよ。」

そうやって笑顔で話しながら、手元でスラスラと作業を進めていた。

私は自分の仕事にやりがいを感じ、一生懸命働く人々を見て心を打たれた。何よりも患者さんを見て走っていった看護師さんも、親切に温かく触れ合ってくれた薬剤師さんも、輝いて見えた。目の前のことに全力になること、人に優しくすること、その大切さをこんなにも自分の身で感じたことはなかった。この経験を一生忘れず、こんなに素敵な大人になれるよう、日々を過ごしていきたい。